



豆腐工場

一般型

有限会社双葉食品 パック豆腐ラインの確立による 販売拡大

パック豆腐ライン設備導入により労働環境の改善を図り、豆腐の生産量の拡大と豆腐を使った主力商品のカマボコ製品の商品開発に努めている。

〈 事業のきっかけ 〉 OPPORTUNITY

当社は魚肉製品の製造販売、乾物類販売、冷凍食品販売を行っている会社で、「ごぼう天」や「ちきあぎ」等のカマボコ製品を主力製品としてきたが、県内には同業者が多く売上に伸び悩みが見られるようになっていた。そのため、他社との差別化を図るため新たな事業展開として以前より手掛けていた島豆腐「あちこー豆腐」(もめん豆腐)に力を入れることになった。しかし、手作りの状態で生産量も限られ、従業員も残業を余儀なくされており機械化が望まれていた。また、「あちこー豆腐」は食品衛生上の問題も指摘されていることから、パック豆腐の製造に取り組むことになり、ものづくり補助事業を活用しパック豆腐製造ライン設備を導入することになった。

〈 事業の取り組み 〉 PROGRESS

導入した設備は「漬け豆タンク・全自動豆摺機・急速冷却水槽・小型包装機・金属探知機・プレハブ冷蔵庫」で、機器メーカーの指導のもとに2カ月の試験運転を行った。試験運転では豆腐をパックに合わせる工程がスムーズにいかず、ラインの速度や機器の調整をはかる等試験運転を繰り返した。豆腐の硬軟や食感についても検討を重ね、特に「絹ごしパック」は成形や食感等で納得のいく製品を作り出すまでに多少の時間を要した。また、当社では原料の大豆の選別をはじめ、使用する水や作業場の空気、工場が立地する土地にも工夫をこらしており、安心・安全な商品を提供するために様々な取り組みを行っている。

COMPANY MIND

熱血起業人

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

良質の豆腐の提供とカマボコ製品の充実！

豆腐は沖縄の食文化に欠かせない食材である。当社は平成3年から主力であるカマボコ製品販売をしていたが、本事業の活用により、新たな事業展開として豆腐のパック製造ができるようになった。顧客からの依頼も多くカマボコと豆腐と一緒に納品することで低価格で提供できるようになった。今後も安心・安全で美味しい豆腐の製造に努めるとともに、豆腐を活用したカマボコ製品の研究に取り組み、商品の幅をさらに広げていきたいと思っている。

有限会社双葉食品
代表取締役 金城 安雄



小型包装機



急速冷却水槽



豆腐製品

〈 事業の成果 〉 ACHIEVEMENT

設備の導入により「もめんパック」「絹ごしパック」「ゆしパック」の製造が可能となった。漬け豆は原料となる大豆を洗って水に漬ける工程で、設備導入以前は手作業で豆を洗って漬ける作業を何度か繰り返していたが、豆の洗浄と水抜きがタイマーセットできるようになった。急速冷却水槽は雑菌の発生を抑えることができ、以前はその日その日の生産であったが、翌日製造予定の原料をストックすることができるようになった。また、パック豆腐になったことから豆腐の賞味期限も7日を基準に設定することができるようになった。設備の導入によって製造ロスも少なくなり生産量がアップしたことから従業員1名、パート1名を採用することになった。以前はカマボコ用に仕入れていた豆腐も自社で製造できるようになってコスト低減にもつながっており、豆腐を使った新しいカマボコ製品の商品開発にも取り組んでいる。

COMPANY OVERVIEW

代表者名	代表取締役 金城 安雄
設立年	平成3年
所在地	〒904-2234 沖縄県うるま市州崎8-14
TEL	本社・工場 098-934-8033
FAX	本社・工場 098-934-8034
ホームページ	http://futabashokuhin.com
資本金	2,300万円
従業員数	20人
業種	練り製品・豆腐製品製造販売

